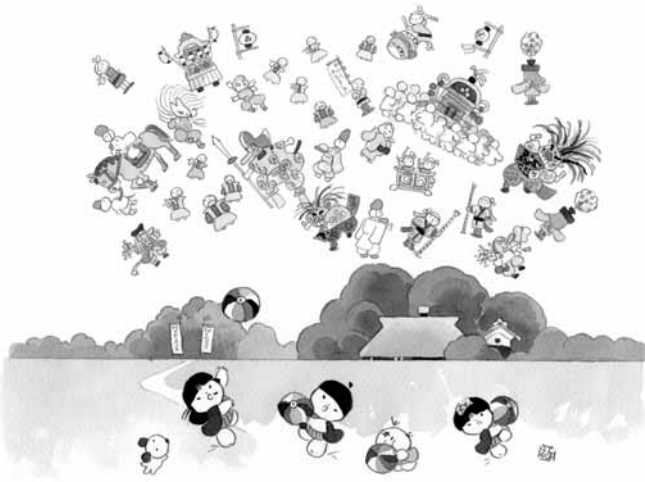


さやまの冬

心温まる笛や太鼓

十月になりますと、鎮守の杜の秋祭り：笛や太鼓のなつかしい音が聞こえてきます。古いも若きもこの音には心ウキウキしたものです。

市内には大きな山や海はありませんが、母なる川・人間川をはさみ、兩岸には武蔵野の平地林や田畑が広がっています。延喜式内社で有名な水



富の広瀬神社の秋祭りでは、一本歯の下駄を履いた天狗が、槍を持ってふざけまわります。このお役をつとめると子宝に恵まれるといわれ、今もなり手が多いそうです。境内では、広瀬離子、お神楽、俳句、菊花展などで賑わい、神社名物のお神輿(市指定文化財)がお下がりになると、楽人の太鼓、箏、筆筆の演奏が続き、お旅所へ向かいます。



金剛院と人間野神社で行われる入曾の獅子舞(県指定文化財)は市を代表するササラ獅子で、獅子をあやつる天狗の重配には、風雨和順、五穀成就とあり、雨の祈念もしたそうです。堀兼・上赤坂の獅子舞も復活後、毎年盛んになり、ふるさとの民俗芸能を守るために、地区の古者と若者たちが日夜稽古に励んでおり、継続されていくでしょう。ふるさとのお祭りは、郷土の誇りであり、大切な文化財です。

市民の作品展

童句

童句翁忌記念童句大会での受賞作品を紹介します。

特選

竹の子を 割れば階段 ひみつ基地 横屋チエ子

かえりみち ペンペン草の 鼓笛隊 宮本 佐保

佳作 山開き 富士山どつと 重くなる 原田 麦吹

ふかふかの 枯葉のじゅうたん バック転 藤井紀久子

丸木橋 とおせんぼする 暮蛙 渡川 誠

青風 帽子おさえる 下校路 矢野 征江

編集後記

東日本大震災の発生から7か月がたとうとしています。被災された方々の心労は、計り知れないものがあります。

そんな中、広報課に被災地の仮設住宅にお住いの方から手紙が届きました。書道をしたまわっている女性から、支援物資のパザール会場で手に入れた書道道具の前の持ち主が、狭山市にかかわりのある方のように、お礼と大切に使用していることを伝えたいとのことでした。外箱には、狭山市市制25周年市民会館落成、文鎮には、たばこ製造50年記念とあります。手紙の主に代わりお礼申し上げます。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。締切り10月31日9月号の答え



8ページ・人間川七夕まつりの「阿波踊りの笠」の写真でした。

👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	10月1日現在()	内は前月比
住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男 78,341人(-27人)	868人(-5人)	
女 76,384人(+16人)	1,196人(+3人)	
合計 154,725人(-11人)	2,064人(-2人)	
世帯 64,389世帯(+53世帯)	1,498世帯(+1世帯)	
9月の火災・救急件数(消防本部)		
火災件数	2件(建物1件、その他1件)	
救急出動件数	488件(搬送人員457人)	
交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)		
交通事故	2,371件(人身事故558件 内死者1人、物件事故1,813件)	
刑法犯罪	1,423件(侵入窃盗96件、車上狙い1109件、自動車盗等168件、その他1,050件)	
平成23年1月1日~9月15日の累計(概数)		

